

## ウォータープルーフケース マリンパック

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

## 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

<p>この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。</p>	<p>4-183-551-01(1)</p>
------------------------------------------------------------	------------------------

## MPK-THJ

© 2010 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

# 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口**に相談する

<div><div><span>変な音やにおいがしたら、煙が出たら</span></div></div>	<p><b>警告</b></p> <p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。</p>
<p><b>電源を切る</b></p> <p><b>ソニーの相談窓口</b>に相談する</p>	<p><b>注意</b></p> <p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</p>
<p><b>行為を禁止する記号</b></p>	<p><b>禁止</b></p>
<p><b>行為を指示する記号</b></p>	<p><b>注意</b></p>

<p><b>警告</b></p>	<p>下記の注意事項を守らないと、<b>事故により死亡や大けがの原因</b>となります。</p>
------------------	--------------------------------------------------

<p><b>水中での使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う</b></p> <p>注意を怠ると、潜水事故の原因となります。</p> <p><b>万一、マリンパックに水漏れが発生した場合</b></p> <p>あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。</p>	<p><b>注意</b></p>
<p><b>衝撃を与えない</b></p> <p>ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。</p>	<p><b>禁止</b></p>

<p><b>注意</b></p>	<p>下記の注意事項を守らないと、<b>けがをすることがあります</b>。</p>
------------------	-------------------------------------------

<p><b>衝撃を与えない</b></p> <p>ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。</p>	<p><b>禁止</b></p>
---------------------------------------------------------	------------------

## 主な特長

- このマリンパック(以下**本機**とする)はソニーのデジタルスチルカメラ(以下**カメラ**とする)DSC-TX7/TX5専用です。(対象のカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。)
- お手持ちのカメラを本機に取り付けると、海辺(水中では水深40m以内)また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。
- カメラを**水(水中)**または**水(水中)**に設定し、本機をお使いになると、水中をきれいに撮影できます。

## 取り扱い上の注意

- フロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けや「メモリースティック デュオ」の交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40℃を超える温水の中
  - 0℃以下の場所
- 結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- 飛行機に持ち込む場合には、付属のスペーサーを使用し本機を開けた状態にしてください。密閉状態の場合、気圧の変化で開けにくくなる場合があります。「保管するときは」のイラストの状態で機内に持ち込むことをおすすめします。

<p>Oリング(オーリング)のはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。必ず確認したあとに、ご使用ください。詳しくは、Oリングメンテナンスマニュアルをお読みください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------

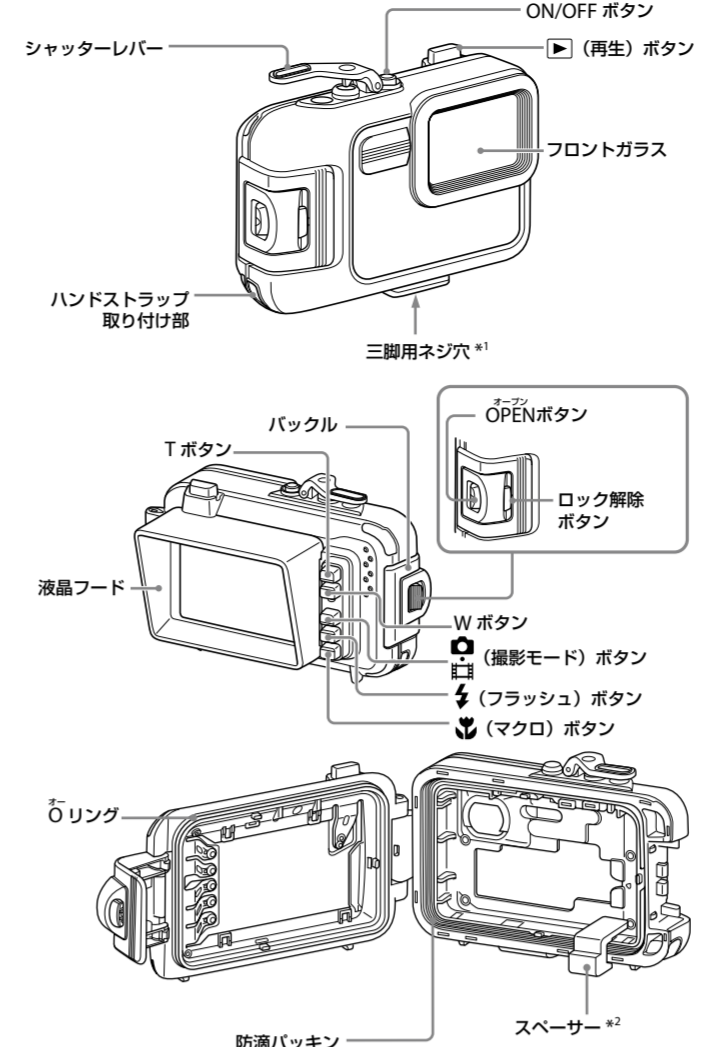
<p>本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ(表面のヒビなど)の原因となります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>水漏れについて</b></p> <p>万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はおお客様のご負担となります。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### フロントガラスのくもり止めについて

- カメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。
- 付属の乾燥剤を撮影の1～2時間前に入れてください。
- 未使用の乾燥剤は袋に入れ、入り口を密封して保存してください。乾燥剤は充分に乾燥させることにより、繰り返し約200回使用することができます。

## 各部の名前



\*1 三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。
\*2 ご使用になるときは取りはずしてください。

## お使いになる前に必ずお読みください

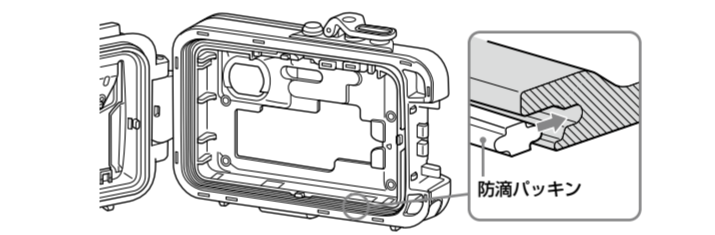
- ご使用前に必ず本機にて試し撮りをおこない、正常に再生できることを確認してください。
- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、カメラが正常に作動するか、また本機に水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一本機の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材(カメラ、バッテリーなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- DSC-TX5をお使いの場合は、必ずカメラを充分に乾燥させた状態で本機に取り付けてください。

## Oリング／防滴パッキンについて

### Oリングについて

本機はOリングを使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。Oリングの取り扱いかたが不適切だと水漏れの原因になります。

<p><b>防滴パッキンについて</b></p> <p>防滴パッキンは、本体からはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ぬじれないように注意して取り付けてください。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



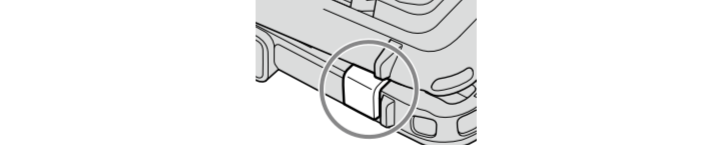
<p><b>Oリングと防滴パッキンの耐用年数</b></p> <p><b>Oリング</b></p> <p>本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。</p>
<p><b>防滴パッキン</b></p> <p>防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。交換後に、水漏れしないことを確認してください。</p>

<p><b>グリスについて</b></p> <p>グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れます。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------

## お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水(水道水など)で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておく、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

<p><b>保管するときは</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。</li></ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------



- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- Oリングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しょうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

## ダイビングの前に

- 水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- カメラは、ダイビングの前にあらかじめ本機に取り付け、船上や海岸などでの本機の開閉は、できるだけ避けてください。カメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ない室内で行ってください。
- ご使用前に、本機の前後のボディの間に異物のほさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用の前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。
- 水中で撮影するときは、**水(水中)**、または**水(水中)**をお使いになることをおすすめします。

## 撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

- 本機内部に水滴がつかく
  - Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
  - Oリングを正しく装着する。
  - バックルをカチッとロックされるまで締める。
  - 十分に乾燥した乾燥剤を使う。
- 撮影ができない
  - バッテリーを充分に充電する。
  - メモリースティック デュオ<sup>®</sup>の残量がない場合、別のメモリースティック デュオ<sup>®</sup>を入れる。または不要なデータを消す。
  - メモリースティック デュオ<sup>®</sup>の誤消去防止スイッチを戻す。または別のメモリースティック デュオ<sup>®</sup>を入れる。
  - カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しいところに置く。
- 撮影モード、フラッシュ、マクロボタンを押しても、モードが切り替わらない
  - タッチ1回目では現状設定が表示されるのみのため、設定が表示されている間に、もう1度ボタンを押す。
- 色がおかしい(水中での使用時)
  - 水(水中)**、または**水(水中)**に設定されているか確認する。
  - 水中ホワイトバランスを確認する。(水中ホワイトバランスは「オート」をおすすめします。設定方法はお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。)

## 主な仕様

<p><b>材質</b></p> <p>プラスチック(PC、ABS)、ガラス</p>
<p><b>防水構造</b></p> <p>Oリング、バックル</p>
<p><b>耐圧</b></p> <p>水深40 mまで</p>
<p><b>外部より操作可能なボタン</b></p> <p>ON/OFF(電源)、シャッター、再生、ズーム(W/T)、撮影モード、フラッシュ、マクロ</p>
<p><b>外形寸法</b>(最大突起部を除く)</p> <p>約134×96×46 mm(幅/高さ/奥行き)</p>
<p><b>質量</b></p> <p>約310 g(本体のみ)</p>
<p><b>同梱物</b></p> <p>ウォータープルーフケース(1)</p> <p>ハンドストラップ(1)</p> <p>液晶フード(1)</p> <p>フロントアタッチメントF(1)*</p> <p>リアアタッチメントF(1)*</p> <p>* お買い上げ時にウォータープルーフケースに装着されています。</p> <p>フロントアタッチメントG(1)</p> <p>リアアタッチメントG(1)</p> <p>グリス(1)</p> <p>Oリング(1)</p> <p>乾燥剤(2個入り)(1)</p> <p>スペーサー (1)</p> <p>印刷物一式</p>

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承下さい。

## 保証書とアフターサービス

<p><b>保証書</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。</li> <li>所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。</li> <li>保証期間は、お買い上げ日より1年間です。</li></ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>アフターサービス</b></p> <p><b>調子が悪いときはまずチェックを</b></p> <p>この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>それでも具合の悪いときは</b></p> <p>ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは次のことをお知らせください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>型名：MPK-THJ</li> <li>故障の状態：できるだけ詳しく</li> <li>お買い上げ日</li></ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>保証期間中の修理は</b></p> <p>保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。</p>
-------------------------------------------------------------------------

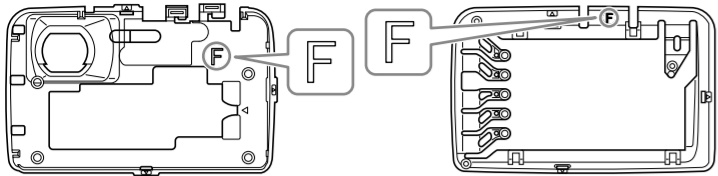
<p><b>保証書は国内に限られています</b></p> <p>付属している保証書は、国内仕様です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>保証期間経過後の修理は</b></p> <p>修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後5年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

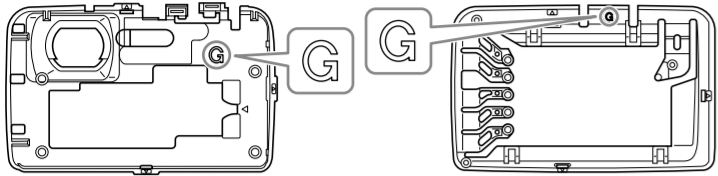
## 準備

### アタッチメント形状

フロントアタッチメント F 1個 (DSC-TX7 用)      リアアタッチメント F 1個 (DSC-TX7 用)



フロントアタッチメント G 1個 (DSC-TX5 用)      リアアタッチメント G 1個 (DSC-TX5 用)



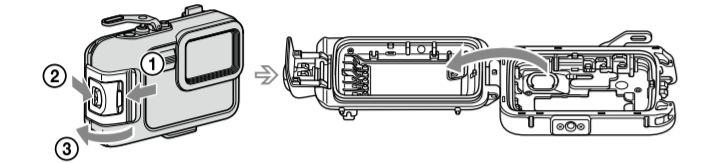
### アタッチメントを取り換える

アタッチメントを取り換える際は、無理な力を加えないでください。

**\* お買い上げ時は、DSC-TX7 用にアタッチメント F を取り付けてありますので、DSC-TX7 をお使いのかたは以下の手順は不要です。**

必ずカメラに対応したアタッチメントを取り付けてください。対応していないアタッチメントを取り付けると、カメラの故障や水漏れの原因になります。

#### 1 本機を開ける。



ボタン ① を押しながら、ボタン ② をスライドさせる。バックルを ③ の方向にあげ、本機を開く。

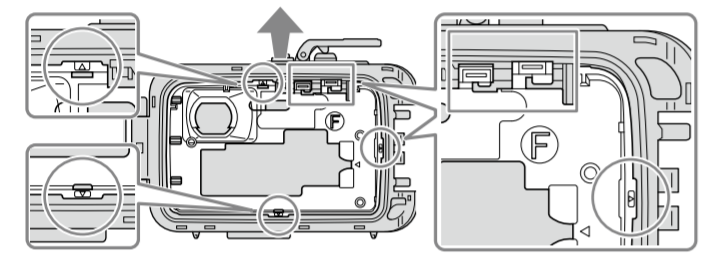
#### ご注意

スパーサーは、本機を保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

#### 2 アタッチメントを取り換える。

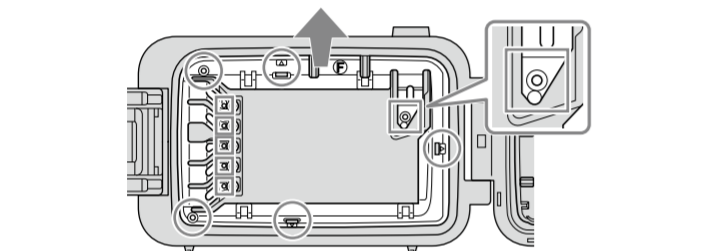
● DSC-TX7 用のフロントアタッチメント F、リアアタッチメント F を取りはずす

##### フロント部



図の□印部分 (2箇所) をはさし、○印部分 (3箇所) を引き上げてください。

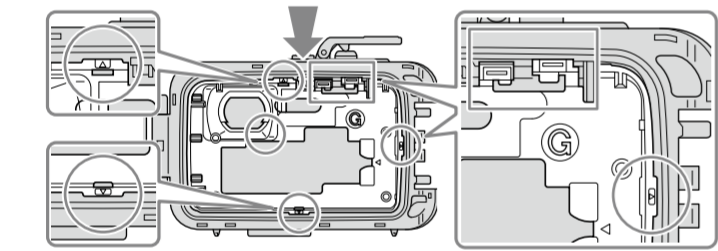
##### リア部



図の□印部分 (6箇所) をはさし、○印部分 (5箇所) を引き上げてください。

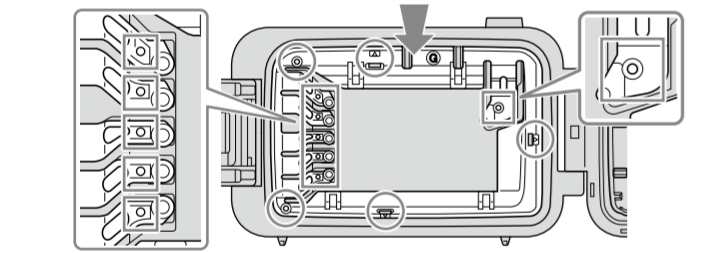
● DSC-TX5 用のフロントアタッチメント G、リアアタッチメント G を取り付ける

##### フロント部



図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。

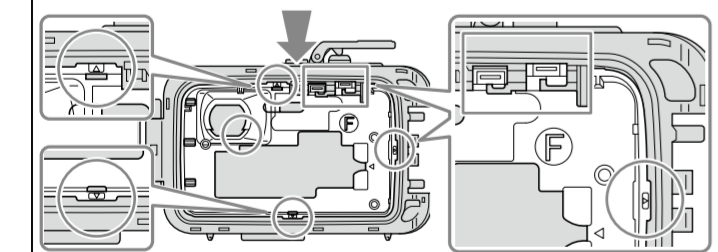
##### リア部



図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。アタッチメント交換後、本機の操作ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

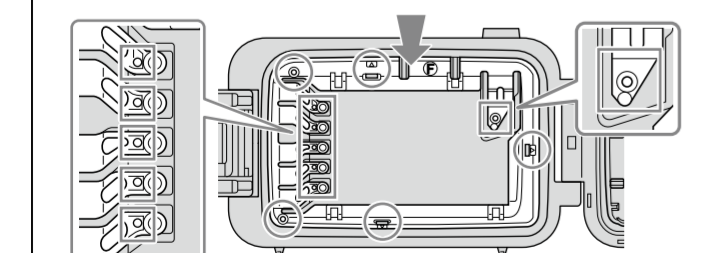
● DSC-TX7 用のフロントアタッチメント F、リアアタッチメント F を再度取り付ける場合

##### フロント部



図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

##### リア部



図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

\* アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

### Oリングと防滴パッキンの準備

- Oリングを取りはずす。
- Oリングにグリスを塗る。  
Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。
- Oリングを取り付ける。
- 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

#### ご注意

- 防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。
- 砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

### カメラの準備

カメラを本機に取り付けて使用するには、カメラのハウジング設定を「入」にする必要があります。詳しくは、下記の手順4をご覧ください。

- カメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、本機前部のくもりの原因となります。
- DSC-TX5をお使いの場合は、必ずカメラを十分に乾燥させた状態で本機に取り付けてください。

カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- カメラのストラップをはずす。
- バッテリー、「メモリースティック デュオ」を入れる。  
十分に充電してあるバッテリーを入れてください。十分に容量のある「メモリースティック デュオ」を入れてください。
- レンズカバーを下げ、電源を入れる。  
レンズカバーを下げるときは、レンズに触れないように注意してください。
- ハウジング設定を「入」にする。  
ハウジング設定が「入」になっていることを確認してください。

#### ハウジングの設定方法

MENU → 設定 → yT (本体設定) → [ハウジング] → [入]

- 設定後、カメラの使える機能が制限されます。使用できる外部ボタン ON/OFF (電源) ボタン、シャッターボタン、再生ボタン 使用できる液晶画面上ボタンの機能 撮影モード：「MENU」「撮影/再生切り換え」「[W]」「モード切り換え」「フラッシュ」「マクロ」 再生モード：「MENU」「撮影/再生切り換え」「再生ズーム」「動画再生/停止 (動画再生時)」「画送り」「画戻し」「削除」
- 本機取り付け後は、MENU ボタンは使用できません。
- レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

#### ご注意

- 水中ホワイトバランスは「オート」をおすすめします。設定方法はお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 連写の設定をする場合は、ハウジング設定前に行ってください。本機装着後は、「記録中断」のみ操作できます。
- AFイルミネーターは使用できません。ハウジングモードに設定すると、自動的にAFイルミネーターが「切」の状態になり使用できなくなります。

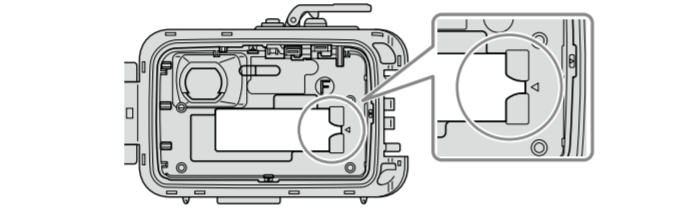
### カメラを本機に取り付ける

ここではDSC-TX7使用時のイラストで説明しています。

#### 1 本機を開ける。

#### 2 乾燥剤を取り付ける。

本機フロント部の乾燥剤スペースに乾燥剤を置き、フロントアタッチメントの○部分で押さえてください。乾燥剤は、イラストのように右端までしっかり押し込んでください。

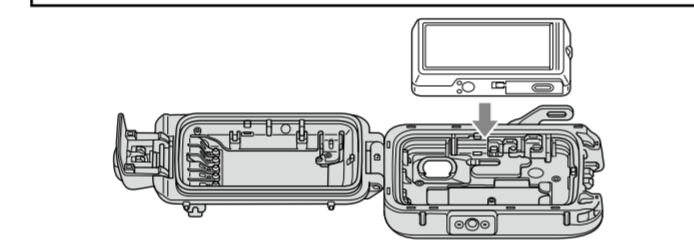


\* 付属の乾燥剤は撮影の1〜2時間前に入れてください。

#### 3 カメラのON/OFF (電源) ボタンを押して電源を「OFF」にする。

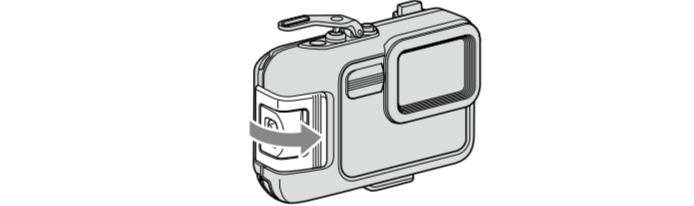
#### 4 本機にカメラを取り付ける。

カメラのレンズカバーは下げた状態にしてください。レンズカバーが上がった状態で無理に本機を閉じようとする故障の原因になります。カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



カメラが正しく入っているか確認してください。

- ボディを閉じて、バックルを締める。  
ボディをしっかりと押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。



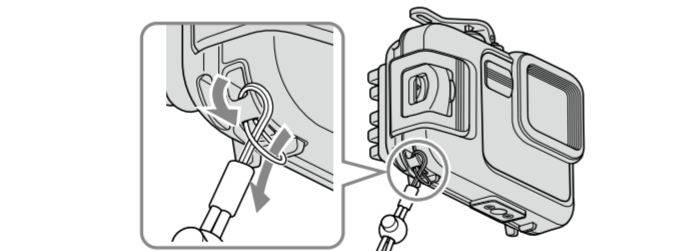
#### ご注意

本機のボディを閉じるとき、Oリングの表面と本機の溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

### 付属品を取り付ける

#### ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



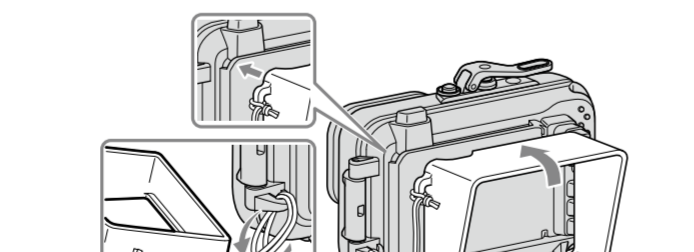
#### ご注意

本機のボディを閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

### 液晶フードの取り付け、取りはずしかた

#### 取り付けかた

- 付属の脱落防止ひもを取り付ける。
- 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込む。

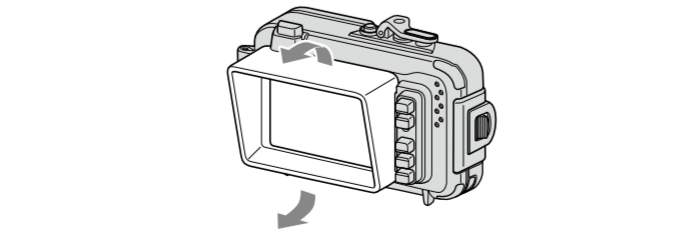


#### ご注意

本機のボディを閉じるときに、脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

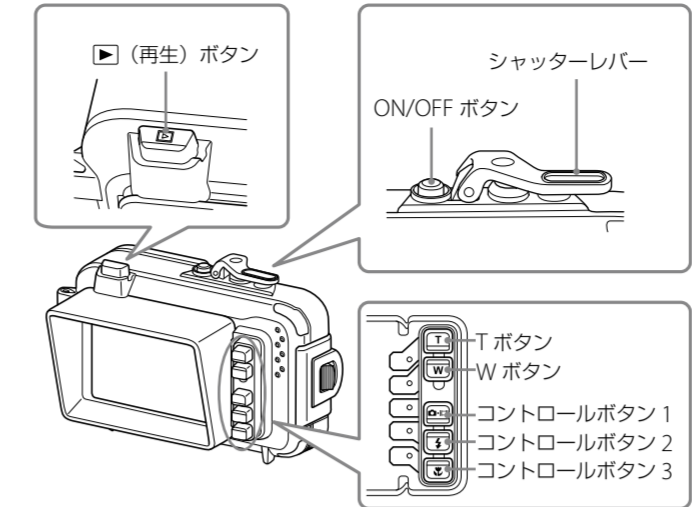
#### 取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。

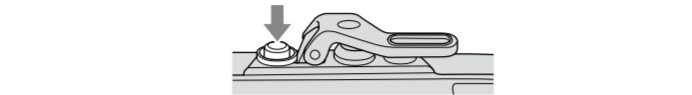


## 本機を使う

### 撮影する



#### 1 電源を入れる。



#### 2 撮影状態を設定する。

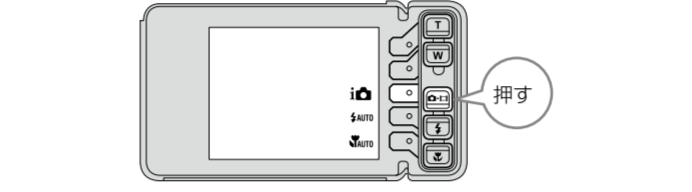
本機のコントロールボタンを押し、各撮影状態を設定します。

#### コントロールボタンの操作方法

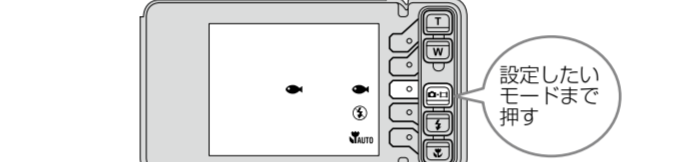
コントロールボタンを押すときは、ゆっくり押してください。

#### 画面上のアイコン表示

1回目 …… 現状の設定を表示するのみです。



2回目 …… モード画面が表示されます。設定したいモードが画面にできるまで、繰り返し押してください。画面中央で、設定内容が確認できます。



#### 本機で使用できるモード

コントロールボタン1	コントロールボタン2	コントロールボタン3
📷 (撮影モード)	⚡ (フラッシュ)	📷 (マクロ)
📷 (おまかせオート撮影)	📷 (オート)*4 ⚡ (強制発光)*4 📷 (発光禁止)	📷 (オート) 📷 (拡大鏡入)
📷 (水中)*1	⚡ (強制発光) 📷 (発光禁止)	📷 (オート) 📷 (拡大鏡入)
📷 (ビーチ)	⚡ (強制発光) 📷 (発光禁止)	—
📷 (スノー)	⚡ (強制発光) 📷 (発光禁止)	—
📷 (パノラマ)*2	—	—
📷 (オート)*3	—	—
📷 (水中)*1、*3	—	—

\*1 水中での撮影は、📷 (水中)、または📷 (水中)での撮影をおすすめします。

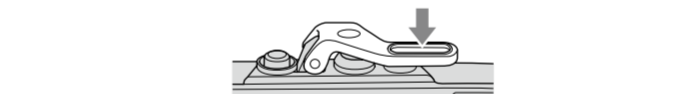
\*2 📷 (スイングパノラマ)はDSC-TX5のみの機能です。📷 (スイングパノラマ)は水中ホワイトバランスに対応していません。水中でパノラマ撮影する際は、体を安定させて撮影することをおすすめします。

\*3 動画撮影については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

\*4 📷 (オート)撮影時は⚡ (強制発光)には設定できません。また、📷 (拡大鏡入)撮影時には⚡ (オート)には設定できません。

カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

#### 3 シャッターレバーを押して撮影する。



#### ズーム機能を使う



Tボタンを押し続けると、徐々に望遠 (Telephoto) になります。Wボタンを押し続けると、徐々に広角 (Wide) になります。

#### ご注意

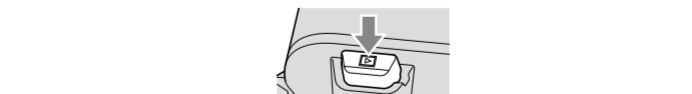
- 撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。
- 本機でフラッシュ撮影を行う場合、フラッシュ到達距離が短くなり全体的に暗くなる傾向があるため、撮影環境 (真っ暗な場所など) によっては撮影距離が大幅に短くなることがあります。その場合は外付けの水中ライトやフラッシュの併用をおすすめします。
- 水中でフラッシュを発光すると、水中の浮遊物に反射して、多数の丸い光として撮影されてしまう場合があります。
- 撮影条件によっては、写り込みが発生する場合があります。そのような場合は撮影条件を変えてご使用ください。
- カメラの拡大鏡モードでは、本機内のガラス面のほこりやゴミにピンポイントが合うことがあります。その際、ガラス面のほこりやゴミを取り除いてください。
- 動画撮影時は、音声を正常に記録することはできません。

### 再生する

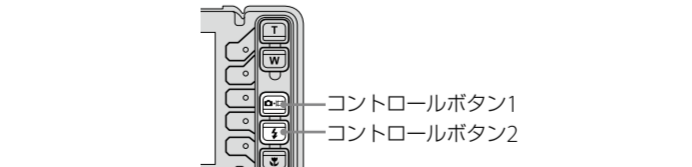
本機の▶ (再生) ボタンで撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

#### 1 電源を入れる。

#### 2 ▶ (再生) ボタンを押す。



#### 3 コントロールボタン1、2を操作して、再生したい画像を選ぶ。



コントロールボタン1を押すと、次の画像へ  
コントロールボタン2を押すと、前の画像へ

再生時、画面上のボタンは次の機能に変わります。

	Tボタン	Wボタン	コントロールボタン1 📷 (撮影モード)	コントロールボタン2 ⚡ (フラッシュ)	コントロールボタン3 📷 (マクロ)
再生	Q再生ズーム① (ズーム) へ	—	画送り	画戻し	削除
静止画	Q再生ズーム① (ズーム) へ 📷再生ズーム② (移動) へ	T (拡大) W (縮小)	—	X (ズーム解除)	📷再生ズーム① (ズーム) へ
動画	停止中 再生中	再生 停止	画送り 画送り	画戻し 画戻し	削除 削除
削除中	—	—	OK	キャンセル	—

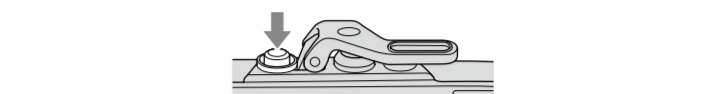
#### ご注意

他のカメラで撮影・記録した画像が「メモリースティックデュオ」内にある場合、カメラでの設定が必要になることがあります。詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

### カメラを取りはずす

#### 1 電源を切る。

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



#### 2 本機を開ける。

#### 3 カメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。

カメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

#### 4 カメラのハウジング設定を「切」にする。

#### ご注意

本機を開ける前に、本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。本機を開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がカメラにかからないようにご注意ください。